

## (別紙) 平成 27 年度「市長懇談会」要望内容

平成 27 年 7 月 19 日

### <職員がいつまでも働き続けたいくなるような職場環境づくりを>

#### ① 保育士の確保

保育士が少ないために、施設の枠はあるのに保育園に入園できない、という問題を以前より提言させていただいています。特に、0 歳児クラスでの定員割れ（6 人が入園出来るのに 3 人しか入園していない状態）が顕著です。

田中市長のおかげで民間園もありがたいことに毎年のように増えています。来年度も増える計画があるということは保護者代表として大変喜ばしく思います。障害児への加配も付けていただき大変ありがとうございます。

しかし、施設が増えれば増えるほど保育職員の確保は非常に困難になってきていると思われま

す。このまま民間園が増え、公立園の 0 歳児クラスの定員割れが続くと、以前、市が提言した「公立園から 0 歳児クラスを無くす」ということを徐々に実行しているのではないかという疑念を覚えてしまいます。そうした疑惑を払しょくするためにも、近隣市区（特に東京都内）以上の職員待遇を設け、職員の採用を増やしてください。正規職員の採用が難しいのであれば臨時職員に頼らざるを得ないという実情は、ある程度はやむを得ないことであると理解はできます。しかしながら募集をかけても集まらないのが現状です。質の高い臨時職員を一人でも多く確保するため、そしてその方々の生活を保障するため、臨時職員の待遇をいまいちど見直してください。

#### ② 看護師の確保

民間園で育成対象児を公式に受け入れていない以上、公立園が育成対象児保護者の最後の砦となるほかありません。容体が変わりやすい 0 歳児に何かあった時、看護師がおらず保育士だけで対応せざるを得ない園が何園もあります。保護者だけではなく保育士さんからも、看護師さんが居ない状況は不安だという声も聞きます。0 歳児がいる全園で、看護師を配置してください。

#### ③ 技能員さんの雇用形態について

技能員さん全員が、市の嘱託ではなくシルバー人材センターへの請負事業へ切り替わったということですが、請負契約である以上、園長先生ほか現場の職員さんが業務に指示することは出来ません。今まで通り、園長先生など先生方が指示・指揮ができるよう 市が直接雇用するか、請負契約ではなく派遣契約に切り替えてください。

## <保育料の減免の継続・拡充ならびに保育料据え置き措置の継続・負担軽減>

### ① 保育料減免の継続・拡充。

先日の定例議会で、3人目以降の子供が0～2歳児クラスに通っていれば、上の兄弟が保育園に通ってなくても無料措置が適用されるという条例の提案・可決がありました。寝耳に水のことでしたが、大変ありがたく思っています。県や国の補助金、交付金を用いて賄っているという話でしたが、来年度以降も継続をお願いいたします。

また、0～2歳児に限っている年齢制限の撤廃を、そして二人目半額についても同様の措置を、  
お願いします。

### ② 保育料据え置き措置の継続

子ども子育て支援新制度の新しい料金システムにおいては、以前と家族構成や収入が変わっていないにもかかわらず料金が高くなってしまいう世帯については据え置き措置が取られています。

しかし、この措置も、収入に変動があったり、新しく入園する児童には適用されず、保育料が高くなってしまふとのこと。

是非とも、以前の基準以下の保育料に戻していただけるよう、市からの補助をお願いいたします。

## <ふるさと納税の活用について>

### ① ふるさと納税の納税用途に子育て支援を。

この6月より、草加市もふるさと納税制度をスタートさせるということを知りました。市の特産品を全国へアピールでき、さらに収入も増えるという一石二鳥の制度であるので推進してほしいと要望した一昨年度の市長懇談会（平成26年2月21日 草市相よ 第33-2号）の要望を実現してくださりありがとうございます。しかしながら、始まった草加市の納税用途を確認すると、一昨年度の要望であった『子育て支援事業』や『保育園支援事業』は確認出来ませんでした。こちらは上記2つの保育士確保要望や保育料減免要望とは違い、予算が不要なものですので、一昨年度の市長懇談会でも要望した通り、『子育て支援事業』『保育園支援事業』の2つを是非とも納税用途として選択できるようにお願いいたします。